

NISSHA 株式会社
「2022 年 12 月期 Q1 WEB 決算説明会」
質疑応答の要旨
(2022 年 5 月 12 日開催)

- Q1. 上期の業績予想の修正は Q1 の上振れを反映したものが、Q2 の見通しも修正していたか。
- A1. 主に Q1 の結果を反映し、Q2 の見通しも見直した。全社の業績に対する影響は限定的だが、中国のロックダウンの影響も織り込んでいる。
- Q2. 為替感応度はどの程度か。
- A2. 今期の残り 9 か月間（4-12 月）の為替感応度は 1 円/米ドルの変動につき売上高で 4 億円程度、営業利益で 0.6 億円程度。
- Q3. メディカルテクノロジー事業において、原材料費、輸送費、人件費の増加はどのような規模だったか。
- A3. Q1 で約 5 億円のコスト増の影響があった。コスト増を受け、約 2 億円の製品値上げを実行した。
- Q4. デバイス事業におけるモビリティ向けのタッチセンサーの売上高目標はいくらか。売上高が成長している理由は何か。
- A4. 2022 年の売上高予想は 45 億円。2024 年に 100 億円を目指す。
ハイエンド車種で搭載が増えている OLED（有機 EL）ディスプレイと当社のフィルムタッチセンサーの親和性が高い。当社のフィルムタッチセンサーは大型、異形、曲面のディスプレイに対応できる。スマートフォン、タブレットでの量産実績も評価されている。

Q5. デバイス事業の Q2 売上高が Q1 比で増加する予想になっている理由は何か。

A5. タブレット向けの製品需要が増える見込み。

Q6. 棚卸資産が 2021 年 12 月末比で増加しているが、どの分野で増加したか。

A6. メディカルテクノロジー事業と産業資材事業の蒸着紙で増加した。

以上